

日経産業新聞 2013年9月3日

タイトル

資産管理の受託4割増 トーセイ、収益拡大を狙う

記事概要

トーセイは私募ファンドなどが運用対象とする資産の管理規模を拡大する。5月末段階で2563億円だった受託管理資産の残高を1.4倍にまで拡大、リスクを抑えながら安定的に収益を稼ぐ考えだ。

トーセイが強化するのは私募ファンドが運用対象とする物件の管理。管理資産の規模を拡大するため、このほど私募ファンド「神谷町インベスト合同会社」に出資し、賃貸マンション「アムス四谷三丁目」(東京・新宿、総戸数58戸)など3物件のアセットマネジメントを受託した。

トーセイは今年、シンガポール証券取引所(SGX)に株式を上場、「不動産投資家の間で知名度も上昇しつつある」(平野昇・取締役専務執行役員)。こうしたネットワークを活用、海外から投資マネーを国内に引き込んでファンドを組成、運用物件の管理を手掛けることも検討する考えだ。運用対象となる資産を所有せず、その管理や運用だけを手掛けるサービスは事業リスクが低い代わりに収益性も低い。ただ、このところの不動産市況の回復で取引が活発化、資産を売買するケースが増加しており、その仲介も手掛けられれば利益も大きくなる。こうした事業環境の変化もあり、ファンドへの出資を通じて管理規模を拡大、収益機会の拡大を狙うことにした。

※当社掲載記事のご紹介は、当社をご紹介いただいた記事の掲載内容を要約したものです。
情報源となる記事の一切は、トーセイ株式会社が作成したものではありません。

トーセイ株式会社 経営企画部

東京都港区虎ノ門4丁目2番3号 虎ノ門トーセイビル

Tel 03-3435-2864 Fax 03-3435-2866

URL:<http://www.toseicorp.co.jp> Mail:pr-tosei@toseicorp.co.jp